



2019年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2018年8月7日

上場会社名 オーミケンシ株式会社
 コード番号 3111 URL <http://www.omikenshi.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石原 美秀
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長 (氏名) 近藤 武彦
 四半期報告書提出予定日 2018年8月10日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 06-6205-7300

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第1四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第1四半期	2,301	△8.2	69	40.4	△36	—	△33	—
2018年3月期第1四半期	2,508	△12.2	49	—	△22	—	△39	—

(注) 包括利益 2019年3月期第1四半期 △1百万円 (—%) 2018年3月期第1四半期 △44百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第1四半期	△0.59	—
2018年3月期第1四半期	△0.67	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第1四半期	26,729	5,796	21.7
2018年3月期	26,914	5,951	22.1

(参考) 自己資本 2019年3月期第1四半期 5,796百万円 2018年3月期 5,951百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
2019年3月期	—	—	—	—	—
2019年3月期(予想)	—	0.00	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

- 上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況につきましては、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。
- 2018年3月期の期末配当金は記念配当であります。
- 当社は、2018年10月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施する予定であります。2019年3月期の期末配当予想額につきましては、現時点では未定であります。

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,000	11.8	300	3.3	100	△5.3	70	6.7	7.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は年次での業績管理を行っておりますので、第2四半期(累計)の連結業績予想の記載を省略しております。
 ※当社は、2018年10月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施する予定であります。2019年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式併合の影響を考慮しております。詳細については、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期1Q	66,024,594 株	2018年3月期	66,024,594 株
② 期末自己株式数	2019年3月期1Q	47,249 株	2018年3月期	47,249 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期1Q	65,977,345 株	2018年3月期1Q	65,977,926 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業務予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
2. 2019年3月期の期末配当予想額につきましては、業績動向等を見極めつつ検討することとしており、配当予想額の開示が可能となった時点で速やかに開示致します。

(株式併合後の連結業績予想について)

当社は、2018年6月28日開催の第153回定時株主総会および普通株式にかかる種類株主総会において、株式併合について承認可決され、2018年10月1日を効力発生日として、普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施する予定であります。なお、株式併合考慮前に換算した2019年3月期の連結業績予想は以下のとおりとなります。

2019年3月期の連結業績予想

1株当たり当期純利益 通期 74銭

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

A種優先株式	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円	円	円	円	円
2018年3月期	—	0.00	—	10.53	10.53
2019年3月期	—				
2019年3月期（予想）		0.00	—	10.63	10.63

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境が改善するなど緩やかな回復基調にあるものの、海外の貿易摩擦問題等により、依然として先行き不透明な状況で推移しました。

このような状況のもと、当社は繊維各部門において機能レーヨンの国内販売強化に取り組むとともに、繊維事業以外の事業展開を図ってまいりました。繊維部門は高付加価値製品の販売等により、利益面での改善が見られ、不動産部門は売上高、営業利益とも微減ながら堅調に推移しました。

この結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間の業績は売上高2,301百万円(前年同四半期比8.2%減)となり、営業利益は69百万円(前年同四半期比40.4%増)となりました。経常損益につきましては為替差損の計上等もあり、経常損失36百万円(前年同四半期は経常損失22百万円)となり、親会社株主に帰属する四半期純損失は33百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失39百万円)となりました。

なお、当社は可食セルロース食品の事業化に着手するため、2018年7月、食料品製造加工販売を営む株式会社宇美フーズ(福岡県糟屋郡宇美町)を買収しました。来年度以降、本格的な生産を開始し、食品事業の領域に事業を拡大して参ります。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①繊維

繊維部門につきましては、売上高は前年同四半期に比べて減収となりましたが、利益面では改善しました。この結果、繊維部門全体では売上高は1,895百万円(前年同四半期比10.1%減)と減収となりましたが、セグメント利益は25百万円(前年同四半期は5百万円のセグメント損失)となりました。

②不動産

不動産部門につきましては、売上高275百万円(前年同四半期比2.6%減)、セグメント利益187百万円(前年同四半期比2.5%減)となりました。

③その他

その他部門につきましては、売上高130百万円(前年同四半期比11.4%増)、セグメント損失19百万円(前年同四半期は16百万円のセグメント損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、売上債権の減少等により、前連結会計年度末に比べ184百万円減少し、26,729百万円となりました。負債は仕入債務の減少等により前連結会計年度末に比べ30百万円減少し、20,932百万円となりました。また、純資産は前連結会計年度末に比べ154百万円減少し、5,796百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年5月11日に発表いたしました連結業績予想から変更ありません。また、2019年3月期の期末配当につきましては引き続き未定と致します。配当金額が決定しだい速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,199	1,179
受取手形及び売掛金	1,348	1,095
製品	1,609	1,709
仕掛品	96	96
原材料及び貯蔵品	449	413
その他	176	240
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	4,878	4,733
固定資産		
有形固定資産		
土地	19,565	19,565
その他(純額)	2,024	1,995
有形固定資産合計	21,589	21,560
無形固定資産	153	143
投資その他の資産		
その他	445	438
貸倒引当金	△169	△161
投資その他の資産合計	275	277
固定資産合計	22,019	21,980
繰延資産		
社債発行費	16	15
繰延資産合計	16	15
資産合計	26,914	26,729

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,835	1,784
短期借入金	1,386	1,456
1年内償還予定の社債	210	210
未払法人税等	11	12
引当金	119	88
その他	766	740
流動負債合計	4,329	4,292
固定負債		
社債	485	485
長期借入金	8,266	8,301
繰延税金負債	5,426	5,434
役員退職慰労引当金	123	92
環境対策引当金	77	77
退職給付に係る負債	846	864
その他	1,407	1,383
固定負債合計	16,633	16,640
負債合計	20,963	20,932
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,205	3,205
資本剰余金	2,724	2,724
利益剰余金	1,863	1,676
自己株式	△4	△4
株主資本合計	7,788	7,601
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8	8
繰延ヘッジ損益	△0	-
為替換算調整勘定	△1,844	△1,813
その他の包括利益累計額合計	△1,836	△1,804
純資産合計	5,951	5,796
負債純資産合計	26,914	26,729

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
売上高	2,508	2,301
売上原価	1,969	1,786
売上総利益	538	515
販売費及び一般管理費	489	446
営業利益	49	69
営業外収益		
受取利息	4	1
受取配当金	1	1
その他	29	20
営業外収益合計	34	23
営業外費用		
支払利息	55	56
為替差損	21	54
その他	29	18
営業外費用合計	107	129
経常損失(△)	△22	△36
特別損失		
固定資産廃棄損	0	—
特別損失合計	0	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△23	△36
法人税、住民税及び事業税	13	3
法人税等調整額	1	8
法人税等合計	15	11
四半期純損失(△)	△39	△48
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	△14
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△39	△33

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
四半期純損失(△)	△39	△48
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	△0
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	△6	45
その他の包括利益合計	△4	46
四半期包括利益	△44	△1
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△44	△1
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2017年4月1日至2017年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	繊維	不動産	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,108	282	2,390	117	2,508	—	2,508
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,108	282	2,390	117	2,508	—	2,508
セグメント利益又は損失(△)	△5	192	187	△16	171	△121	49

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソフトウェア開発・販売、園芸事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△121百万円には、セグメント間取引消去5百万円及び各報告セグメントに配賦していない全社費用△126百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	繊維	不動産	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,895	275	2,171	130	2,301	—	2,301
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,895	275	2,171	130	2,301	—	2,301
セグメント利益又は損失(△)	25	187	213	△19	193	△124	69

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソフトウェア開発・販売、園芸事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△124百万円には、セグメント間取引消去5百万円及び各報告セグメントに配賦していない全社費用△129百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。